国際ロータリー第２６３０地区　岐阜県　濃飛グループ

2023－2024年度
RIテーマ

高山西ロータリークラブ　創立１９６６年１月１５日

例会報告 Rotary

第2720回例会
令和5年10月20日

東山中出前講座および
ＩＭ報告

世界に希望を生み出そう

●例会日　毎週金曜日　12：30～13：30　●会　長　下屋勝比古
●例会場　高山市花里町 3-33-3　TEL　34-3988　●幹　事　塚本 直人
大垣共立銀行高山支店　４Ｆ　●会報委員長　挾土 貞吉

＜会長の時間＞

10 月は、行事が続きます。来週は社会奉仕員会の職場見学で「地熱発電所」を見学に行きます。すぐに地区大会がありますので、まだまだ忙しくも興味深い活動が続きます。

気がつけば、もう 10 月も半ばとなり山の木々も色づき始めました。ハンドボールリーグもいよいよ明日開幕します。すでに選手は広島へ向かって移動しています。鹿児島から 10 時間の移動で帰ってきましたが、今回は広島まで 10 時間のバス移動です。けがのないことをただ祈るだけです。

さて、以前会長の時間で「西洋医学は狩猟の医学」「東洋医学は農耕の医学」とお話をしました。東洋医学の特徴についてお話をします。中国語には「ＡＢＣＤＥ」や「いろはにはへと」といった順番がありません。文字に順番がないので単語にも順番がないのです。西洋医学は、「循環器系―心臓―僧帽弁―心室―心筋」といったような細かく細分化しているのに対し、東洋医学では、人間の体を一つの総合体とみていますが、それを宇宙の壮大な仕組みととらえ『人間の体は大宇宙の一環であると同時に、人体は自然の中に生き、存在そのものが自然である』と言えます。農耕民族である我々は、狩猟と違って自然に任せる所が多く人間は毎日精いっぱい働いて自然の答えを待ちます。調和を乱すものが侵入すれば大急ぎで追い出そうとして調和を望みます。侵入者を決して殺しません。殺してしまうと後始末が面倒だからです。体の中に死骸やダメージが残ってしまうからです。身体をいつもピカピカに磨き上げて健康でいれば、侵入されにくくなります。隙を見せたら細菌やウイルスに居座られ健康でなくなってしまいます。ただどんなに体を整えても、ものすごい威力やスピードが速い悪者が侵入して来たら手の打ちようがありません。新型コロナウイルスのような場合は、一刻も早い西洋医学の武器に頼って戦うか、ワクチンでわなを仕掛けて被害にあわなくすることも賢明です。霧や夜で獲物が見えなくても土は耕せられます。目をつぶっても片足で立っていられます。人間の体の総合的バランスを整えることが最良の医学ととらえています。細菌やウイルス、癌やなどの殺し方は下手ですがうまく身体を整えることは上手になりました。

ロシアやミャンマー、アラビアでは爆弾やミサイルの応酬で沢山の相手（敵）を殺し、街を破壊します。その後始末や逃げ惑った人たちの後始末は本当に大変です。

東洋医学では『名医は未病を治し、凡医は既病を直す』といわれています。これから寒くなる季節に、家や街を失うという悲しい思いをしないよう、平和ボケといわれてもいいので、暖かい家族やロータリーの仲間と一緒に楽しい時間を共有できる喜びを、今日も高山でかみしめています。

＜幹事報告＞

◎ＲＩ日本事務局より

・10 月のロータリーレートについて　1 ドル 149 円　(9 月 146 円)

◎ガバナーより

・『Ｄ．Ｅ．Ｉ推進セミナー』開催のご案内

日　　時　　12 月 2 日（土）　点鐘 13：00　終了 16：00
場　　所　　岐阜グランドホテル
参加要請　　会長、幹事、増強委員、女性会員、若い会員
※多様性を考慮した人選をお願いします
登 録 料　　一人 4,000 円　　登録締切　　11 月 10 日

◎はぐるま会会長より

・第 205 回　はぐるま会開催のご案内

日時・場所　　11 月 23 日（木・祝）10：30～スタート
飛騨高山カントリークラブ
表彰懇親会　　山陣　18：00～　　懇親会費　8,000 円
締　　切　　11 月 10 日（金）

◎高山市青少年市民会議より

・「第 40 回家族スナップ写真展」「第 32 回家庭の日図画展」の作品募集および広報活動について

募集内容　家族スナップ写真、家庭の日図画またはポスター
募集期間　10 月 22 日（月）～31 日（火）
作品受付　市役所生涯学習課および各支所地域振興課
展示期間　12 月 1 日（金）～3 日（日）
会　　場　高山市民文化会館　2－5 会議室、2－6 展示室
巡回展示　12 月 6 日（水）～令和 6 年 1 月 25 日（木）
展示会場　国府支所、高山市役所、一之宮支所

◎飛騨高山国際協会より

・モロッコでの地震発生に伴う救援金について

募金箱設置場所　　秘書交流課内飛騨高山国際協会事務局、
市役所１Ｆインフォメーション前
設 置 期 間　　10 月 13 日（金）～31 日（火）

＜例会変更＞

高　　山　…11 月　2 日（木）は、紅葉同伴例会のため、
18：30～ ホテル高山アソシアリゾートに 変更
11 月 23 日（木）は、法定休日のため、休会
可　　児　…　11 月　9 日（木）は、例会場都合のため
鈴川　に　変更
11 月 16 日（木）は、地区大会参加のため
18 日（土）　に　変更
11 月 23 日（木）は、法定休日のため、休会
11 月 30 日（木）は、定款により　休会

＜受贈誌＞

高山中央ＲＣ（会報）、下呂ＲＣ（会報）、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol283)、(社)高山市文化協会（広報高山の文化 No248）、

例 会 報 告

＜出席報告＞

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
２４名	－	２４名	３６名	７０．５９％

先日の例会にお休みされた２名の方に、結婚記念祝いの品をお渡ししました。

田近 毅・薫さん
　　S46. 10. 21、
門前庄次郎・真理子さん
　　S57. 10. 11

＜本日のプログラム＞東山中学校出前講座報告

「寄稿」出前講座を終えて 青少年奉仕委員　委員長　榎坂　純一

10月４日、東山中学校にて出前講座を実施しました。高山西ロータリークラブからは、12名の講師が参加し、中学１年生にむけて講義を行いました。講義形式は、生徒一人一人と向き合うことを目的として、生徒が８名程度の小グループに分かれて受講する形式でした。ご参加いただいた講師の方に、この場を借りて担当委員長としてお礼申し上げます。

東山中学校は、岩佐校長先生のもと、「郷土の未来を創る」というビジョンを掲げ、「キャリア教育」に力を入れられています。今回の出前講座は、東山中学校が取り組む「キャリア教育」の一環として、ロータリークラブの会員から、自身の仕事感や仕事内容についてお話をさせていただきました。今回の出前講座が中学校生活で長期的に行われる「キャリア教育」の一助になれましたら幸いです。

私も講師として参加させていただき、生徒に向けて将来の夢が決まっている人は、その目標に向かって頑張る事、そして決まっていない人は、自分が何に幸せを感じ、どう生きたいかを、この出前講座を通して考え始めてみてくださいとお話しさせていただきました。口語終盤には、多くの質問もしていただき、生徒一人一人が真剣に将来のキャリアについて勉強していることに、心から感心しました。

すべての生徒が、様々なことに挑戦し自分の幸せをつかむことを心から願っています。

田中　晶洋

自分の仕事は、人材派遣という形のないものですので、仕事を見てもらうということが出来ないため、自分の仕事観を話してきたつもりです。自分が中学生の時には、将来の職業のことなど全く考えずに中学時代を送っていたわけで、今の中学生は本当に真面目にです。自分の仕事観を持ってたりとか、いろんなことを真面目にやってるなって感じました。

自分が中学生の時から考えると現代の仕事は大分変わってきていると思います。例えば昔は公務員になることとか一流企業に勤めることが成功と言うふうに言われておりましたけども、今の子供たちはテレビゲームをやってその様子をYoutubeに流してそれで生活を立てていると言う人もいたり、一昔前だとちょっと考えられなかったような仕事のスタイルもあって、何が人生において成功なのかって言うことを考えた時に、年収1000万円以上とかそういったことが成功ではないんじゃないかなって言うような話をしました。毎日、コツコツ働いて仕事の中で喜びを見出せて、今日も１日楽しかったな働きがいがあったな、と充実感を持って働けることが人生の成功じゃないかなっていうような話をさせていただきました。

なかなか自分の思いが伝わったのかどうか分かりませんけども、いつも出前講座でお話しする事は、親とか先生とか周りの期待に応えなくていいってことを伝えています、自分が何をしたいのかということをしっかり考えて、誰かが喜ぶからこの仕事に就くんじゃなくて、自分がこの仕事をしたいって言うような喜びが持てるような仕事してくださいってことをお伝えしてます。そんな感じであっという間に２コマの講座が終わってしまいました。自分自身が中学生から学ぶことが多かったと思います。また来年もこの機会を与えてくだされば、行ってお話しをしたいなと思いました。

佐藤　貴史

当日は中学１年生の生徒５名（男性２名、女性３名）を担当させていただきました。

はじめに、「将来何になりたいか？」質問したところ、５人全員が現時点での夢や目標をはっきりと返答され、自分が中学生のころと比べしっかりしているなと驚いた次第です。これも先月の岩佐校長先生の卓話の中でも話があったように、生徒のキャリア教育に力を入れている結果なのだと感心致しました。

また、将来の夢として「ユーチューバーになりたい」「子供の世話をしたい」等様々な夢をもっておられました。共通していたのは、人に関わる仕事をしたいとの事でしたので、銀行もその一つであり、まず、「銀行って何をするところ？」「銀行の役割って何？」というテーマでお話させていただきました。

銀行というのは、お金を預かったり、借りたり、両替をしたり、お金にまつわる仕事であるということは、生徒の皆さんもご存じでしたが、その他にも様々な役割があることをお話させていただきました。また、OKBでは銀行以外の業種の方々のもとで一定期間研修を行う「異業種研修制度」というものがあり、TV局で学んだ社員が、自前でCMを作ったりしている話などは興味をもってきいていただけたのではないかと思います。

本日参加いただいた生徒の皆さんが少しでも銀行という仕事に興味をもっていただければ幸いです。出来れば５年後、１０年後にOKBに入社してもらえると嬉しいですね。

一通り銀行の役割について説明させていただいたのち、残りの時間では、お金の使い方についてお話させていただきました。

将来社会人となって自分で稼いで生活していくことになったとき、どのような考えでお金を使ったり、貯めたり、借りたりしていくと良いか説明させていただきました。少しでもお役に立てていれば幸いです。

例 会 報 告

最後に、今回の出前講座を通じ逆に私自身が学校、生徒の皆さんから学ばせていただきました。今後も機会があれば是非参加させてください。貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。

「寄稿」出前講座報告　　会報・雑誌・広報委員長　　挾土　貞吉

今回の出前講座私は「我が人生語る」。テーマ　新時代AIに挑戦、人間力（実力）で勝負・マイスター時代到来「手に職を」！。中学高校では、よく学び、よく遊び、部活動で苦楽を味わい忍耐力と強い精神力を養い、又良き友（ライバル）作れ。時に歴史本を読み、その後社会に出たらマイスター「手に職」を。地元この高山に就職して「飛騨匠」として花を咲かせて下さいと語りかけました。

皆さん承知のごとく、この飛騨高山は観光都市で仕事もあり災害も無く日本一良い所です。私は中学校卒で無学歴だが、若いころの夢は県下一、いや日本一の左官を目指し頑張りました。座右の銘「苦あれば楽あり、念ずれば花ひらく」です。昔の徒弟制度での体験談、歴史人物に学ぶ（二之宮尊徳、松下幸之助、本田宗一郎、稲盛和夫）の成功例、人間学を引出しに我が82年間の人生経験、失敗談を交え語り掛けましたが、果たして生徒は如何に受け止め、理解してくれたか気がかりです。

先般、我がクラブに於いて東山中学校、岩佐校長先生がキャリア教育への取組み、学校教育と社会との繋がり、生徒さんに夢と希望を持たせ人間力を付けることの必要性、又我々への要望等の卓話を聴き感銘しました。この政治、経済、社会共、「箍」の緩んだ世相に於いて、私も先生の考えに同感であり出前講座に手を挙げましたが、果たして私ごとき爺の話が、新時代に生きる、頭が良く贅沢生活で、苦労知らずの生徒さん達に理解されるか少し不安と迷いがありました。

故に話の内容を、実社会（娑婆）の厳しさ、人生山あり、谷あり、登り坂、下り坂、加えて「真坂」と言う「艱難辛苦」がある。それを乗り越えるのが人間力だ、見事に努力と根性で勝ちえている男が大谷翔平、藤井聡太達だと思う。彼らを夢見て頑張ろう。彼らを真似るには中学生の今から将来の夢、大きな志を立て、目標に向かって必要な勉強をし、挑戦を開始する事です。何事も挫けず努力すれば夢は叶います。失敗しても必ず世間は見方をし運は必ずついてきます。「念ずれば花ひらく」己に克ちプラス思考で頑張る事です。 若い時の苦労は勝ってでも出ろは「金言」です。就職しても、結婚しても自分で決めた以上石の上にも3年我慢努力が大事です。後に幸せが来ます。「踏まれても踏まれて野に咲く福寿草」になれ。

又これからの社会、生成AIとの戦いであり、「心」人間力で勝負だ。日常生活人様とのお付き合いは、義理人情（おかげさま、思いやり）利他の心で親、先生（恩師）先輩を敬い、（挨拶、返事、掃除、展物揃え）等、人間として当たり前の常識を心得、自ら進んでできる人が世間に認められ感動を与え、夢目標が叶えられる秘訣だ。（武士道精神）侍ジャパン見習おう。

今、正に不透明で前途多難な時代が来ている。困難に打ち勝つのは、知恵を出し、正しき道を進み、人柄「技と心」で勝負する事だ。故に「マイスター」時代が来たと私は思っている。弊社に今年新社員2人、次年度高卒女子と男子が技能士を目指し入社します。

尚人間として最も大事な生活に於いては、お金の尊さを自覚し無駄使いをしない事、非常事態（災容）等に備えた貯えが必要だ。国の金（税金）、助成金等、当てにせず汗して働き、腕で稼ぐ事。今後は生半可な学歴で無く実力で勝負の時代だ。「苦あれば楽あり」年老いて良き家庭を持てるよう頑張ろう。我が人生悔いなし幸せですと語りかけた。

又我が明治生まれの両親から聞かされた、人様に迷惑かけるな、役立つ人間になれの躾言葉「誠実は信用の基、、努力は発展の基、反省は向上の甚、質素は安定の基、健康は幸福の基」働かざる者食うべからず、真面目に働け、身体が資本「豆なが宝」だと言っていた事思い出し飛騨弁丸出しで私は話してきました。田舎生まれ昔人間故に、少し夢のない厳しい話だった事反省しています。しかし生徒さんは真剣に聞いているようで嬉しかったです。

当日我が西クラブの講師メンバーは、若く有望な経営者ばかりであり「夢、希望」に満ちた語りで生徒さん達の心に残る講話であっただろうと推察しています。皆さんご苦労様でした。我々は、己を律し「天職を高め、職業を通して社会に奉仕」を理念とするロータリアンです。例会で唱和する四つのテストに照らし、お互い切磋琢磨、精進して青少年育成、明るい豊かな街、社会作りに貢献し、我が西クラブ目前に迫った「60周年祈念式典並びに祝賀会」に花を咲かせる事楽しみに、私は此の身体に鞭打ち迷惑かけながらも例会37年間 100%皆勤出席しています。皆様有難うございます。

例 会 報 告

濃飛グループＩＭ報告

堀　幸一郎

一部は活動報告などで二部は懇親会でした。

一部の活動報告については・高山西ＲＣ　・高山中央ＲＣ　・高山ＲＣ　・下呂ＲＣ　・可児ＲＣ・美濃加茂ＲＣの順で報告が行われました。高山西ＲＣはここ数年の財団活動を中心に、また高山中央ＲＣはほぼ剱田ガバナーのお話、高山ＲＣは会食が多いという事と中国からの留学生「程さん」を紹介されました。下呂ＲＣは過去の交換留学生が 37 名で多いという事が印象的でした。可児ＲＣや美濃加茂ＲＣの発表はインパクト少なく余りこれと言った印象は残りませんでした。

また高橋直前ガバナーのスピーチはまだ数回お聞きしただけなのですが、非常にわかりやすく、人をひきつけるスピーチだと感じております。ロータリークラブの活動は「青少年奉仕と社会奉仕」に分けられるから始まり、人づくりとは人を育てることであり、すなわち、心を育てること。ロータリークラブとは高い倫理観を持った教育要素が強い組織であること。また、魅力のある組織は魅力のある人が作るということ。真のロータリアンを育てるというロータリーの本質を忘れてはならないというお話はよく理解でき、「これこそロータリアン」だと感じました。

二部の懇親会についてはブラスバンドの演奏を聞かせて頂きました。しかし会場がそれほど大きくないせいか、折角の演奏が「うるさい」という印象で終わってしまったのは残念でした。あとはアルコールが入ったせいか、あまり覚えていません。しかしロータリークラブを理解するにはこの様なイベントに出席する事が大切だと感じました。

田邊　淳

10 月 14 日(土) シティホテル美濃加茂で開催の岐阜県濃飛グループインターシティミーティングについて報告します。

プログラムはホストの美濃加茂クラブ会長の挨拶の後、ガバナー補佐山田様、ガバナー篠原様の挨拶と続きましたが、その中でガバナーより、ＩＭの目的とは「研修と親睦」とお話し頂きました。今まで何回か出席させていただきましても、明確に目的についてのお話は初めて聞き、そういうものだと理解しました。

その後各クラブ活動報告として西クラブを皮切りに中央ＲＣ、高山ＲＣ、下呂ＲＣ、可児ＲＣ、美濃加茂ＲＣの順で報告があり、当西クラブは下屋会長から・交換留学生受け入れ・ソフトミニバレー・義務教育９ヵ年皆出席表彰および財団補助金事業として・防災と自然に触れる体験学習交流会・ハンドボール体験講習会・障碍者作品展・相撲に触れる一日　の報告があり、内容が一番充実していたと感じました。

その後第２部の懇親会へ移り、美濃加茂消防音楽隊による演奏とクラブ対抗フラフープ大会と続きましたが、我が西クラブからフラフープ出場された田中晶洋さんの活躍に目を見張りました。

大屋　尚史

10 月 14 日（土）、濃飛ＩＭに参加させていただきました。入会して５か月ですので初参加となるため、報告というよりも感想を申し述べさせていただきますのでご了承ください。

全体の流れについては先輩方がご発表されたとおりです。私は６クラブの発表を拝聴させていただいた中で、下屋会長がご発表された高山西ＲＣと、下呂ＲＣの活動が、平素行っている社業とも重なる部分が多くあり感銘を受けました。

明治安田生命は、通常業務の保険販売とそのアフターフォローに加えて、健康で長生きすることを支援する「健活プロジェクト」と生活基盤である地元の活性化を支援する「地元の元気応援プロジェクト」を実施しております。

下屋会長がおっしゃっている「自他共栄」、自己を高め、地域社会に還元し尊敬されるクラブに属し活動させていただきことは、このような当社のプロジェクトとの相通ずることであり、ＲＣ活動に注力し、自己を高めたいと思います。

また、下呂ＲＣでは下呂市の課題である減塩に取り組んでいるとのことです。当社も高山市、下呂市と健康に関する連携協定を締結しており、下呂市の減塩活動には協力を惜しまない姿勢でおります。このように、ＲＣ活動をしっかりと励行することは、社業の発展にも直結することが多々あることをしっかりと認識し、日々研鑽に努めたいと思います。

例 会 報 告

＜ニコニコボックス＞

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

本日は久しぶりの通常例会です。気候や景色もすっかり秋になりました。皆様くれぐれもお身体にはご自愛ください。10／4 のキャリア教育出前講座にご協力いただいた皆様ありがとうございます。そして 10／14 美濃加茂でのＩＭに参加された方々お疲れ様でした。それぞれ代表の方に報告して頂きます。どうぞよろしくお願いします。

●榎坂 純一さん

先日東山中学校にてキャリア教育出前講座が開催されました。講師の皆様、誠にありがとうございます。本日は田中晶洋さんと佐藤さんに報告をして頂きます。どうぞよろしくお願い致します。
二所ノ関親方そのたたずまいに感動しました。ありがとうございました。佐藤さん、会員スピーチよろしくお願いします。

●伊藤 松寿さん

10/6 初孫が誕生しました。体重 4,000ｇを超える男の子です。のびのびと且つすこやかに成長してくれることを祈念します。

●高井 道子さん

10 月は夫ともども誕生プレゼントをありがとうございました。私はジュース、夫は花、ちょっと逆の様な（笑）。今日はニコニコボックスをお借りして皆様にお願いがあります。「人間力を高める」第３回で投稿した、若年性認知症の丹野智文さんの実話を基にした「オレンジランプ」という映画ですが、家族の会岐阜県支部飛騨地区会が主催し、11 月 30 日高山市民文化会館で無料上映することになりました。ぜひ観にいらして下さい。つきましては上映料の一部だけが足りません。ちょっぴり応援して頂けるとありがたいのですが、お気持ちのある方はお声をかけて下さるようお願い致します。

●田邊 淳さん

11/23（祝）高山グリーンホテル様にて「クルーズトークショー」を開催します。日本に数人しかいないクルーズマイスターの斎藤さんによる船旅の魅力あふれるトークショーです。ぜひご参加下さい。詳細はホワイトボードにポスターを張っておきます。よろしくお願いします。

●堀 幸一郎さん

思春期の入り口、中学生になって初めて憧れたアーティスト、アリスの谷村新司さんの訃報を聞き、途方にくれたのは私だけでしょうか？スマホが普及し、いつでもどこでもお気に入りの楽曲が聴けるようになった昨今、あの血気盛んだった学生の頃聴いた、アリスのチンペイさんの曲が今の自分をどれだけ勇気付けまた癒してくれたことか、影響は計り知れません。また学生時代チンペイさんのラジオ番組を聞くことで、若いころから高い倫理観を与えてもらったと感じています。感謝しかありません。有難うございました。

●田近 毅さん、内田 幸洋さん、米澤 久二さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、堺 和信さん、垣内 秀文さん、田中 晶洋さん、杉山 和宏さん、野尻 陽子さん、中島 一成さん、佐藤 貴史さん

10 月 14 日開催のＩＭには16 名と大人数で参加しました。クラブ活動紹介と来期高山西クラブ主催のＩＭの参加依頼を下屋会長が格調高くされました。懇親会でのフラフープ大会で田中晶洋さんが優秀賞に輝きました。

人間力を高める　　第 10 回

『武士道』　　岡田　贊三

また戦争が始まってしまった。コロナパンデミックがようやく終わりかけたところへ、ウクライナ、そしてイスラエル・パレスチナ戦争が勃発してしまった。いつまで世界はこんな事を繰り返しているのだろう。振り返って見ると人類の歴史は戦争の連続であったとも言えるのではないだろうか。

こんな文章に出会ってしまった。　新渡戸　稲造
「ラスキンは最も心柔和にして平和を愛する人の一人であった。しかし彼は奮闘的生涯の崇拝者たる熱心をもって、戦争の価値を信じた。彼はその著『野の橄欖の王冠』でこう言っている－「戦争はあらゆる技術の基礎であると私の言う時、それは同時に人間のあらゆる高き徳と能力の基礎であることを意味しているのである。この発見は私にとって頗る奇異であり、かつ頗る怖ろしいのであるが、しかしそれがまったく否定し難き事実であることを私は知った。簡単に言えば、すべての偉大なる国民は、彼らの言の真理と思想の力とを戦争において学んだこと、戦争において涵養させられ平和によって浪費せられたこと、戦争によって教えられ平和によって欺かれたこと、戦争によって訓練せられ平和によって裏切られたこと、要するに戦争の中に生まれ平和の中に死んだのであることを、私は見いだしたのである。」

この文章を読み私は納得せざるを得ない気分になってしまった。しかし著者は日本の誇る『武士道』の中に私達の求めるべき指針があると言っている。今こそ武士道を学ぶべき時が来たのではないだろうか。